

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月29日

上場会社名 株式会社キムラ 上場取引所 東
 コード番号 7461 URL <https://www.kimuranet.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長兼経営企画室長 (氏名) 八代 紀裕 TEL 011-721-4311
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,052	1.6	489	19.1	503	16.5	244	38.0
2019年3月期第1四半期	7,927	△6.2	410	57.0	432	58.6	176	18.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 272百万円 (32.1%) 2019年3月期第1四半期 206百万円 (35.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	16.47	—
2019年3月期第1四半期	11.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	24,979	12,148	42.5	716.35
2019年3月期	25,269	12,978	41.9	714.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 10,625百万円 2019年3月期 10,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年3月期の期末配当金には記念配当2円が含まれております。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	17,400	3.7	1,020	4.2	1,080	6.6	460	2.8	31.01
通期	33,500	2.8	1,550	4.8	1,645	6.7	790	2.6	53.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	15,180,000株	2019年3月期	15,180,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	347,124株	2019年3月期	347,124株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	14,832,876株	2019年3月期1Q	14,832,876株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、大型連休に伴う稼働日数の減少が企業活動の停滞を招き、連休中の人手確保に向けた人件費の高騰および物流費の増加が景気の下押し圧力となりました。また、米中貿易摩擦を背景とした中国景気の減速などが輸出の停滞を招き、不透明感が一層強まっています。個人消費は良好な雇用・所得環境が下支えしており、緩やかな拡大が持続しましたが、消費税率引き上げによる消費減退が懸念されております。

このような状況のもと当社グループは、卸売事業における新商品の開発と販売強化、小売事業におけるお客様満足度の向上と適正価格での販売による収益面の改善に努めてまいりました。また、グループ会社としてのシナジー効果の発揮と、意思決定の迅速化を目的として、当社の連結子会社である(株)ジョイフルエーカーの株式の19%を追加取得しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高80億52百万円(前年同四半期比1.6%増)、営業利益4億89百万円(同19.1%増)、経常利益5億3百万円(同16.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億44百万円(同38.0%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(卸売事業)

住宅着工は、持家で消費税率引き上げを前に着工および受注が上向いていますが、貸家および分譲住宅が減少しており、全体では前年を下回って推移しているため、新設住宅着工戸数は緩やかな減少傾向が続くものと思われれます。このような状況のもと、自然素材を活かした提案型モデル住宅「Skogのいえ」の全国展開と商品群のブランド化を進め、輸入関連商品などの新商品開発と販売強化に努めてまいりました。これらの結果、売上高29億62百万円(前年同四半期比2.6%増)、営業利益2億32百万円(同0.3%減)となりました。

(小売事業)

ホームセンター業界においては、引き続き同業他社、他業態との競争の激化が続いております。このような状況のもと、接客力の強化と経費削減による収益の確保に努めてまいりました。大型連休中の集客に向けて各種イベントを企画したことも奏功し、売上高44億79百万円(前年同四半期比1.4%増)、営業利益3億12百万円(同31.7%増)となりました。

(不動産事業)

前年に行った賃貸用建物の建て替えによる収入増とホームセンターへの新テナント入居により、売上高85百万円(前年同四半期比47.4%増)、営業利益64百万円(同84.1%増)となりました。

(足場レンタル事業)

業務の効率化による生産性の向上と経費削減に努めておりますが、第1四半期は資材の仕入れが先行したため、売上高2億79百万円(前年同四半期比5.0%増)、営業損失12百万円(前年同四半期は営業利益0百万円)となりました。

(サッシ・ガラス施工事業)

工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努めておりますが、昨年と比較すると春先の受注が遅れており、売上高2億46百万円(前年同四半期比17.2%減)、営業損失4百万円(前年同四半期は営業利益10百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は249億79百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億90百万円減少しております。これは主に、売上債権が7億90百万円、たな卸資産が3億96百万円増加したことと、現金及び預金が13億72百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は128億30百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億39百万円増加しております。これは主に、買入債務が9億13百万円増加したことと、借入金3億78百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は121億48百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億29百万円減少しております。1株当たりの純資産は716円35銭となり、前連結会計年度末に比べて1円95銭増加しております。

なお、自己資本比率は42.5%となっており、前連結会計年度末と比較して0.6ポイント向上しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2019年5月9日付「2019年3月期 決算短信」において発表しております2020年3月期の第2四半期累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,988,123	2,615,607
受取手形及び売掛金	2,348,410	3,136,114
電子記録債権	121,232	124,071
商品	3,209,880	3,603,369
販売用不動産	82,029	82,029
その他のたな卸資産	29,377	32,862
その他	135,296	108,508
貸倒引当金	△10,316	△9,462
流動資産合計	9,904,034	9,693,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,895,862	7,851,576
土地	2,932,723	2,932,723
その他(純額)	2,466,013	2,483,545
有形固定資産合計	13,294,599	13,267,845
無形固定資産		
のれん	206,830	193,903
その他	125,498	119,925
無形固定資産合計	332,328	313,828
投資その他の資産		
その他	1,756,478	1,735,831
貸倒引当金	△17,519	△30,797
投資その他の資産合計	1,738,958	1,705,034
固定資産合計	15,365,887	15,286,708
資産合計	25,269,921	24,979,809
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,624,286	2,551,510
電子記録債務	439,594	425,442
短期借入金	3,322,700	3,169,700
未払法人税等	352,833	223,397
賞与引当金	153,265	194,792
その他	738,583	821,030
流動負債合計	6,631,263	7,385,873
固定負債		
長期借入金	4,251,100	4,025,650
役員退職慰労引当金	29,010	29,010
退職給付に係る負債	241,918	247,778
資産除去債務	322,118	323,511
その他	816,263	819,043
固定負債合計	5,660,410	5,444,993
負債合計	12,291,673	12,830,867

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,500	834,427
利益剰余金	8,737,644	8,803,975
自己株式	△132,934	△132,934
株主資本合計	10,232,560	10,298,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,021	155,660
土地再評価差額金	171,061	171,061
その他の包括利益累計額合計	364,083	326,722
非支配株主持分	2,381,604	1,523,402
純資産合計	12,978,247	12,148,942
負債純資産合計	25,269,921	24,979,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,927,432	8,052,761
売上原価	5,779,736	5,816,900
売上総利益	2,147,696	2,235,860
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	672,870	673,662
賞与引当金繰入額	106,297	102,327
退職給付費用	9,048	9,971
貸倒引当金繰入額	502	1,241
その他	948,338	959,579
販売費及び一般管理費合計	1,737,055	1,746,782
営業利益	410,640	489,078
営業外収益		
受取利息	324	294
仕入割引	18,792	19,209
その他	28,515	20,630
営業外収益合計	47,632	40,135
営業外費用		
支払利息	8,324	6,892
売上割引	16,751	16,005
その他	522	2,410
営業外費用合計	25,599	25,308
経常利益	432,673	503,905
特別利益		
固定資産売却益	—	601
特別利益合計	—	601
特別損失		
固定資産除売却損	18,000	4
特別損失合計	18,000	4
税金等調整前四半期純利益	414,673	504,502
法人税、住民税及び事業税	175,787	207,223
法人税等調整額	△17,367	△12,627
法人税等合計	158,420	194,596
四半期純利益	256,253	309,906
非支配株主に帰属する四半期純利益	79,258	65,581
親会社株主に帰属する四半期純利益	176,994	244,325

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	256,253	309,906
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,093	△37,664
その他の包括利益合計	△50,093	△37,664
四半期包括利益	206,159	272,241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,720	206,964
非支配株主に係る四半期包括利益	79,438	65,277

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	2,888,162	4,417,956	57,970	266,042	297,300	7,927,432
セグメント間の 内部売上高又は振替高	142,505	1,037	14,304	223	—	158,071
計	3,030,668	4,418,994	72,274	266,266	297,300	8,085,503
セグメント利益	232,778	237,568	34,819	687	10,491	516,346

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	516,346
セグメント間取引消去	△2,684
全社費用(注)	△103,021
四半期連結損益計算書の営業利益	410,640

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	2,962,066	4,479,631	85,421	279,342	246,300	8,052,761
セグメント間の 内部売上高又は振替高	126,858	1,440	9,864	40	1,024	139,226
計	3,088,924	4,481,071	95,285	279,382	247,324	8,191,988
セグメント利益 又は損失(△)	232,036	312,978	64,119	△12,648	△4,107	592,378

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	592,378
セグメント間取引消去	△1,436
全社費用(注)	△101,863
四半期連結損益計算書の営業利益	489,078

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)
共通支配下の取引等
子会社株式の追加取得

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

- ①結合当事企業の名称 ㈱ジョイフルエーカー
②事業の内容 ホームセンター及びペットショップを営む小売事業

(2) 企業結合日

2019年6月18日

(3) 企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得

(4) 結合後企業の名称

変更ありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

グループ会社としての一層のシナジー効果の発揮と、意思決定の迅速化を目的とし、当社の連結子会社である
㈱ジョイフルエーカーの株式の19%を追加取得しました。

2. 実施した会計処理の内容

「企業結合に関する会計基準（企業会計基準第21号 2013年9月13日）」及び「企業結合会計基準及び事業分離
等会計基準に関する適用指針（企業会計基準適用指針第10号 2013年9月13日）」に基づき、共通支配下の取引等
のうち、非支配株主との取引として処理しております。

3. 子会社株式の追加取得に関する事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	923,552千円
取得原価		923,552千円

4. 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

(1) 資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

(2) 非支配株主との取引によって減少した資本剰余金の金額

72千円